

## 令和4年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ 単位によっては ICT 機器を活用し、効果的に活動を進めることができた。
- ・ 「思考・判断・表現」を評価するために、定期テストのみならず、レポート作成やグループでの話し合いなどの多様な活動を取り入れ、改善することができた

#### (2) 課題

- ・ 今年度から男女共修となったため、どちらも飽きないよう、課題設定を工夫する。
- ・ 男女共修となり、きめ細かな指導ができなかった。(男子の技能向上の問題)

### 2 分析 (観点別)

#### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体を動かす意欲はあるが、新型コロナウイルスの流行もあり、運動経験が少ない生徒が多く、体力の低下が見られた。	指摘されたことを改善することはできるが、見本や手本と自分の動きを比べ、課題を見つけること、改善策を考えることに課題がある。	授業の流れやルールを覚え、主運動へは意欲的に活動することができた。 準備運動やその他の活動についても、必要性を理解し、主体的に授業に取り組むことが課題。

#### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新型コロナウイルス感染症の影響で、体力が低下している。また、大きな声を出しての活動も出来ておらず、全力で取り組むことが出来ないでいる。 男女共修での水泳の授業は無理がある。	男女共修になったが、女子が男子を見本として見られず、男子と女子の認識に違いが見られる。	クラスの雰囲気が大きく影響していて、男子がリーダー性を発揮出来るクラスは主体的に取り組んでいるが、女子が主導のクラスは男子の主体性が低下している。

#### ③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新型コロナウイルス感染症の影響で、体力が低下し、技能取得に課題を見られた。 特に水泳の技能は体力・能力差が拡大している。	男女共修になったことで、教え合い活動に変化が見られた。課題改善のためにできる練習メニューを主体的に考え、効果的な指導につながった。	お互いに健闘を称え、良いプレーを認めることが男女共修になり、より活発になった。将来を見据え、学習に取り組むことが今後の課題である。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
健康管理に配慮しながら、運動時間をできる限り長く取れるような授業展開を心掛ける。 ペアやグループでの活動を設けたりスモールステップを設定することで、できる喜びを感じながら楽しく授業に取り組むことができるようにする。	自分や仲間の動きの中から良いところを見つけ、意見交換をしたり、課題に対してアドバイスを送る場面を設ける。その中で動きの課題を見つけ、解決策を相談することで自分の言葉で表現できるようにする。	準備運動の必要性や、主運動との結びつきを生徒が理解できるようにする。 また、主体的に授業に取り組む意欲を高めるために、ペアやグループでの活動の場をより多く設け、教わるだけでなく、生徒同士が教え合うことができる環境を整える。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現状を考えると正直難しい。 連続した運動を多く取り入れて体力の向上を図りたい。	男女の認識の違いを理解させ、単元によって男女の見本の示し方を変えていきたい。	単元によるが、男女を同じグループで活動させる機会を多く持つようにしていく。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各単元では学習初期の段階から選択肢を増やす学習を行い、それらを活用して楽しむことができたり、達成感が味わえる指導をしていく。	体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選ぶことができるようにする。習得した知識をより深い学びに繋がられるようにする。	ペアやグループでの活動の場をより多く設け、自己や仲間の課題解決に向けた話し合いに貢献できるようにする。